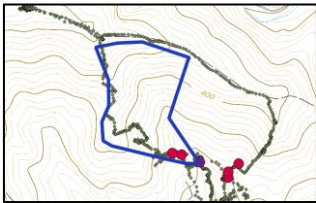






Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 継続 1 2

会社名・団体名等 NPO 法人緑のダム北相模 受賞年度 2018

取組等の名称	相模湖・若者の森づくり	
活動の種類	<input type="checkbox"/>	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）
	<input type="checkbox"/>	間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
	<input type="checkbox"/>	環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
受賞の内容 （概略）	神奈川県相模原市で中高大学生による森林保全活動を実施している。また間伐材の積み木を活用したイベントを通して、木育の活動も行っている。	
受賞後の展開 （受賞から現在まで）	森林整備活動は月1～2回のペースで継続中、境界線調査についてはQGISというフリーソフトに仕様変更し、参加する高校生が管理、またより高精度のサブメートル級のGPSを導入予定。 学芸大との連携を深めており、学芸大 explayground 機構が設置したGTE（GreenTechEngineering）ラボに参加、高校生大学生がメンバーとして活動を始めている。	
今後の展開 （現在から未来へ）	地元でも目撃情報のないシカがセンサーカメラに映るなど野生生物の調査も必要になり（多摩森林科学園に協力依頼中）、より多様な活動に発展しつつある。今後は活動フィールド周辺の若者の参加を呼び込むため、地元小学校への出前授業を大学研究者とともに立案、11月に実施予定。	
取組の実績	10月に学芸大子ども未来研究所とショッピングモールでの積み木イベントを共催、3日間で2000人を超える来場者、1時間枠の体験整理券も連日午前で配布終了するなどほどの大盛況	
その他	さらなる若者参加者獲得のため、高校生発案により本会のInstagramを開設、高校生が運用している。活動写真、参加者のコメントをウェブ上共有スペースで管理し、担当者が活動に参加せずとも継続的に記事が掲載されるような仕組みを構築した。 木育サミット、緑の少年団、アウトドアメーカーなど、高校生への依頼も含めた事例報告、講演依頼が多く寄せられ、横浜市社会科研究会からも教材作成、指導依頼があるなど活動広報が進んでおり、3月の森林学会でもポスター発表予定。	
取組、製品等の 写真、図表等	 <p>時計回りに、 積み木イベントポスター GTE ラボの様子、インスタのアイコン 撮影された雌シカ、GISでのセンサー カメラの位置データ</p>	   

連絡先等 （公表可能な範囲 でご記入下さい）	(住所) 〒252-0172 相模原市緑区与瀬本町12 かどや食堂内 (担当部署等) (電話番号等) TEL: FAX: (URL) http://midorinodam.jp
------------------------------	---